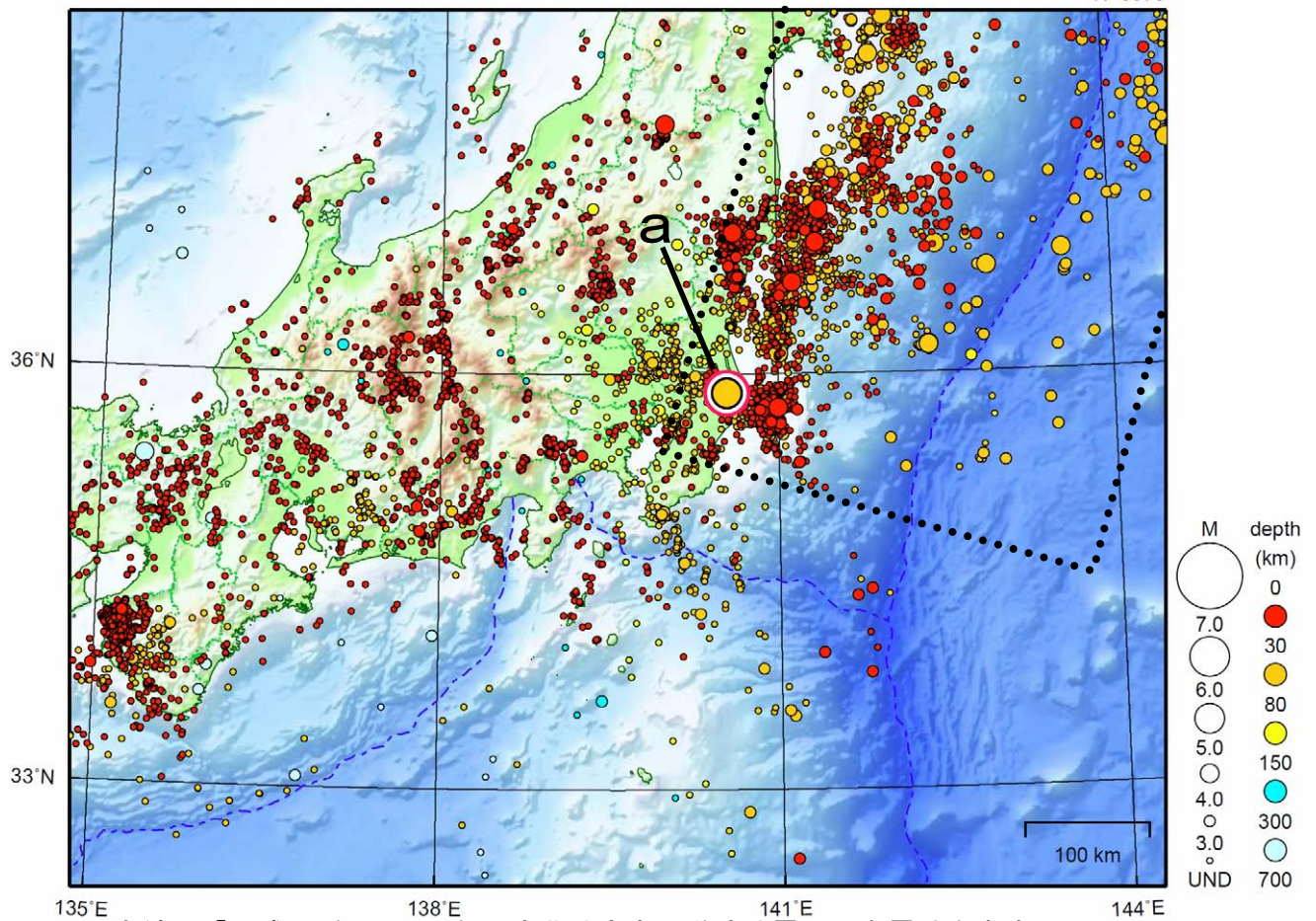


関東・中部地方

2012/09/01 00:00 ~ 2012/09/30 24:00

N=8379



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

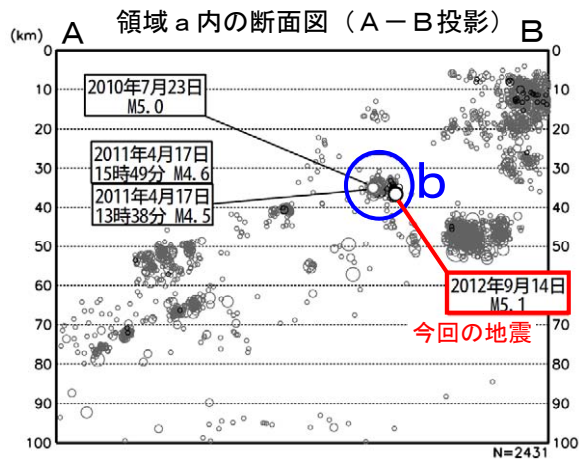
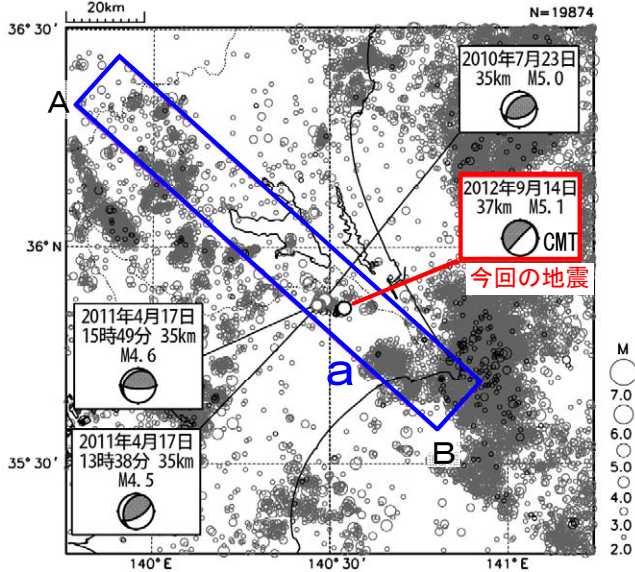
a) 9 月 14 日に千葉県北東部で M5.1 の地震（最大震度 4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

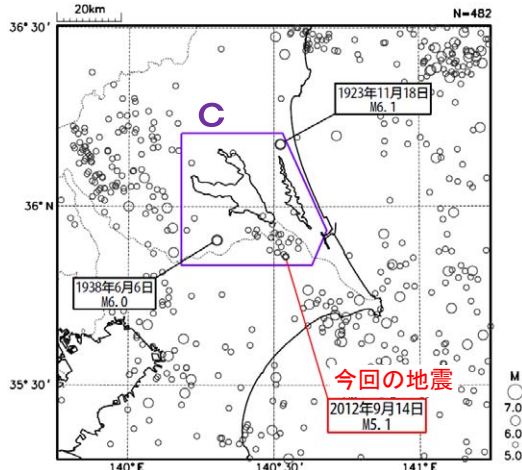
9月14日 千葉県北東部の地震

震央分布図（2002年10月1日～2012年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ ）

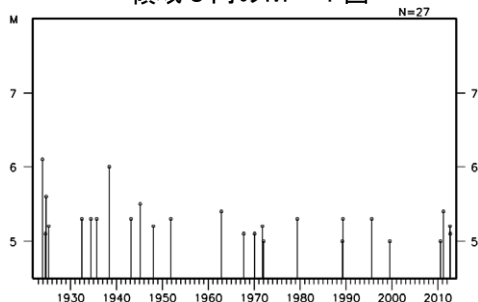
2012年9月以降の地震を濃く表示



震央分布図（1923年1月1日～2012年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ ）



領域c内のM-T図

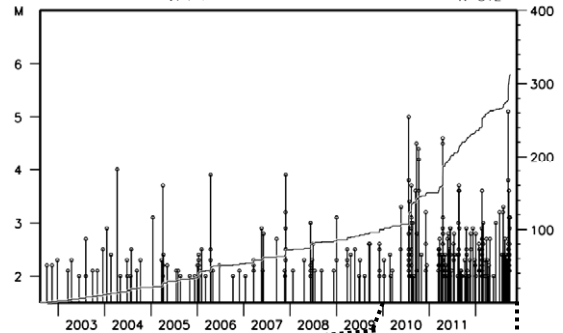


2012年9月14日02時22分に千葉県北東部の深さ37kmでM5.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震である。発震機構（CMT解）は北西-南東方向に圧力軸を持つ型である。

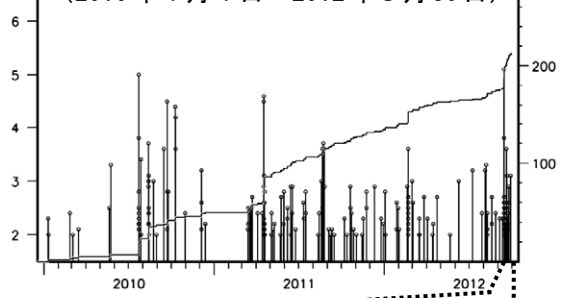
今回の地震の発生後、9月30日までに震度1以上を観測した余震が3回（最大震度2：1回、最大震度1：2回）発生しており、地震活動は徐々に低下してきている。

2002年10月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2010年7月23日にM5.0の地震（最大震度5弱）に発生し、その後2010年12月頃までに地震活動は収束したが、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動はやや活発になっていた。

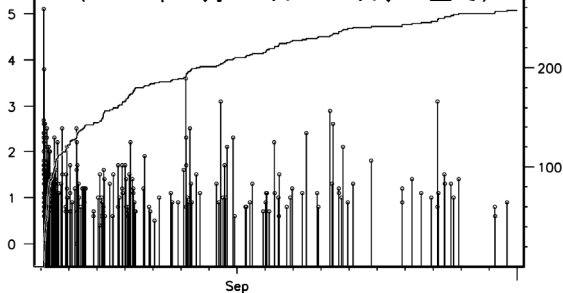
領域b内のM-T図



(2010年1月1日～2012年9月30日)



(2012年9月14日～30日、M全て)



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M5.0以上の地震が時々発生している。